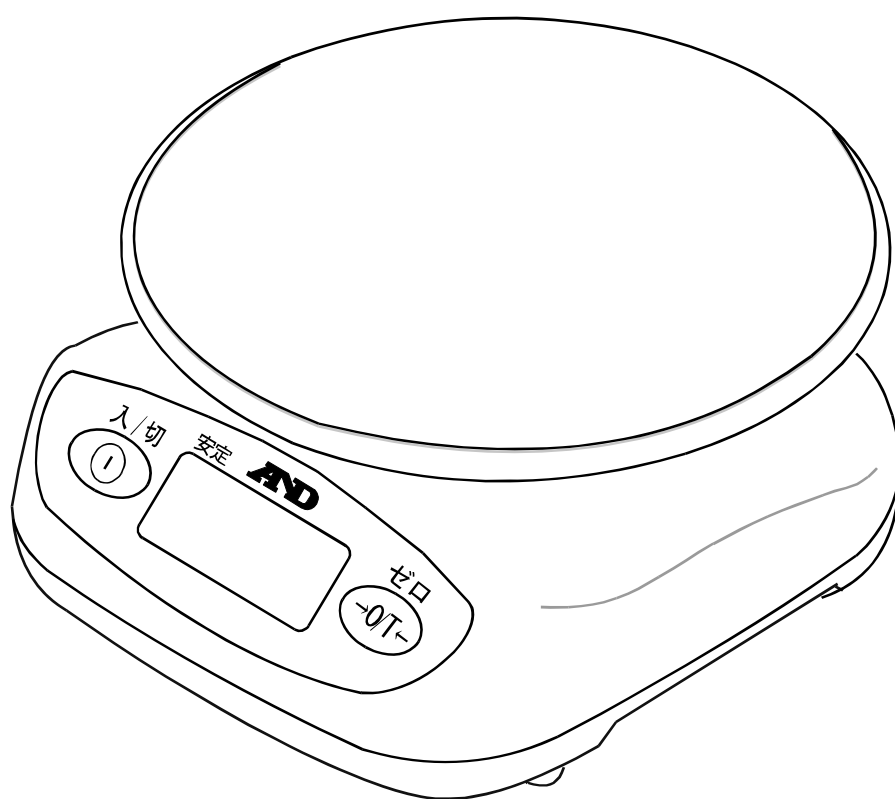


UH-3000WP

防塵・防水デジタルはかり

取扱説明書



AND 株式会社 **イー・アンド・デイ**

1WMPD4003323A



1. 安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、お買い上げの製品を安全にお使いいただくため、守っていただきたい事項が記載されています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。



警告

この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示します。

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄の弊社営業所へご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2016 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

警告

修理： ケースを開けての修理は、サービスマン以外には行わないでください。保証の対象外になるばかりか、機器を損傷したり火災の原因となったりします。

機器の異常：

機器に異常が認められた場合は、速やかに使用をやめ、「故障中」を示す貼紙をするか、誤って使われることのない場所に移してください。そのままの使用継続は大変危険です。修理はお買い求めの販売店、または最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。



2. 使用上の注意

⚠ 注意

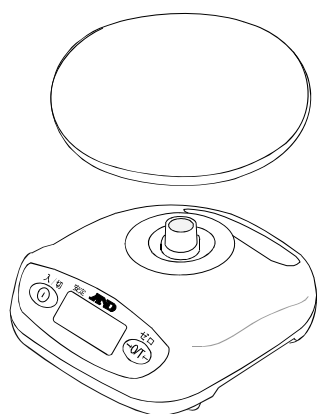
- 環境：** はかりは精密機器です。設置する環境には十分注意してください。特に直射日光の当たる場所や高温多湿となるところ、埃の多い場所で長時間使用すると故障の原因になります。また、風の当たる場所や振動の多い不安定な場所で使うと、著しく精度が落ちる場合があります。しっかりした水平な台の上でお使いください。
- 取り扱い：** 本体や計量皿に衝撃を与えないでください。また、計量皿にひょう量以上の荷重をかけないでください。故障の原因となります。長期間使用しない場合は、電池を抜いてください。
- 温度：** はかりを極端に暑い場所や寒い場所（5～35℃以外）で使用することは避けてください。また、はかりを 10℃以上の温度差がある場所へ移動させた場合は、2 時間以上放置してからご使用ください。



3. はじめに

この度は、UH-3000WP 防塵・防水デジタルはかりをお買いあげいただき誠にありがとうございます。ご使用にあたっては本書をお読みいただき、内容を良くご理解の上、正しくご使用ください。本書を読み終わった後は、大切に保管してください。

以下のものがそろっていることを確認してください。



計量皿

本体



取扱説明書

- ❑ UH-3000WP は、IP-67 に準拠した防塵・防水性能を持った構造で、ロードセルを利用した「はかり」です。
(水深 1m の深さに 30 分浸漬しても、有害な影響を受けません。)
- ❑ 電源は単 3 形乾電池×2 個（別売）です。

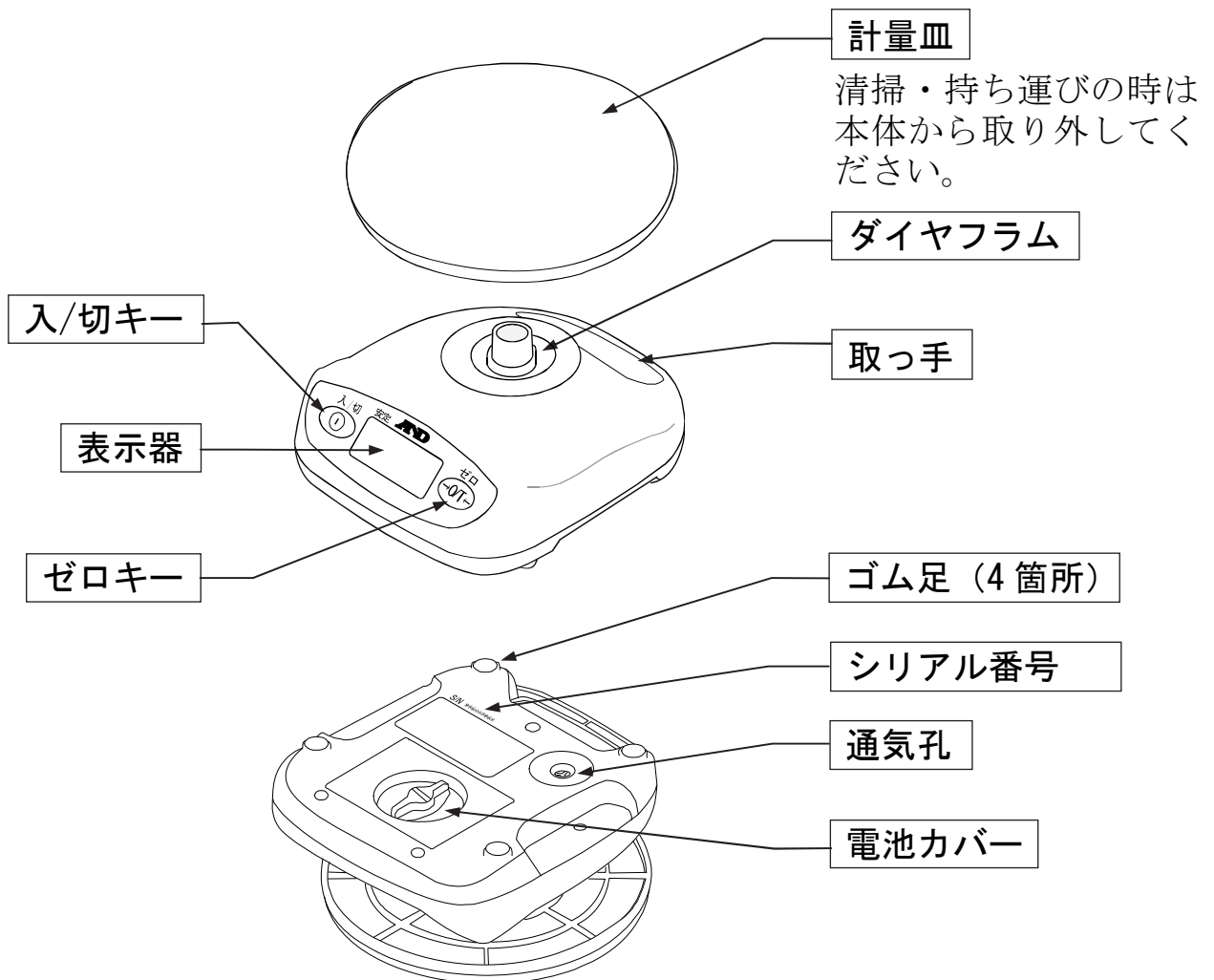
防塵・防水性能についてのご注意

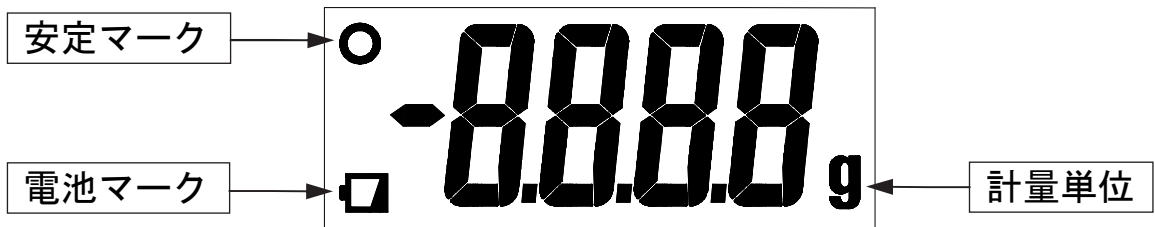
⚠ 注意

- はかりを使用するときは、必ず電池カバーを取り付けてください。また、電池カバーのつまみを回して、しっかり締めてください。
- 通気孔にもものを入れないでください。また、通気孔やその周辺に水以外のもの（油や薬品等を含む）が触れないようにしてください。
- 清掃時以外はダイヤフラムに触れないでください。
- 本体底面のシールは剥がさないでください。
- はかりを水に浸けた状態で使用・放置しないでください。
- 手やはかりが濡れた状態で取り扱う場合は、滑らないように注意してください。
- 40℃以上のお湯や蒸気はかりにかからないようにしてください。
- 硬いものや先の尖ったものでキーを押さないでください。
- はかりの使用状況により、防塵・防水性能を維持できなくなる場合があります。



4. 各部名称





入/切 キー	電源をオン/オフします。
ゼロ キー	表示値をゼロにします。(風袋引き機能)
安定マーク	計量値が安定していると点灯します。
電池マーク	電池残量が少なくなったときに点灯します。

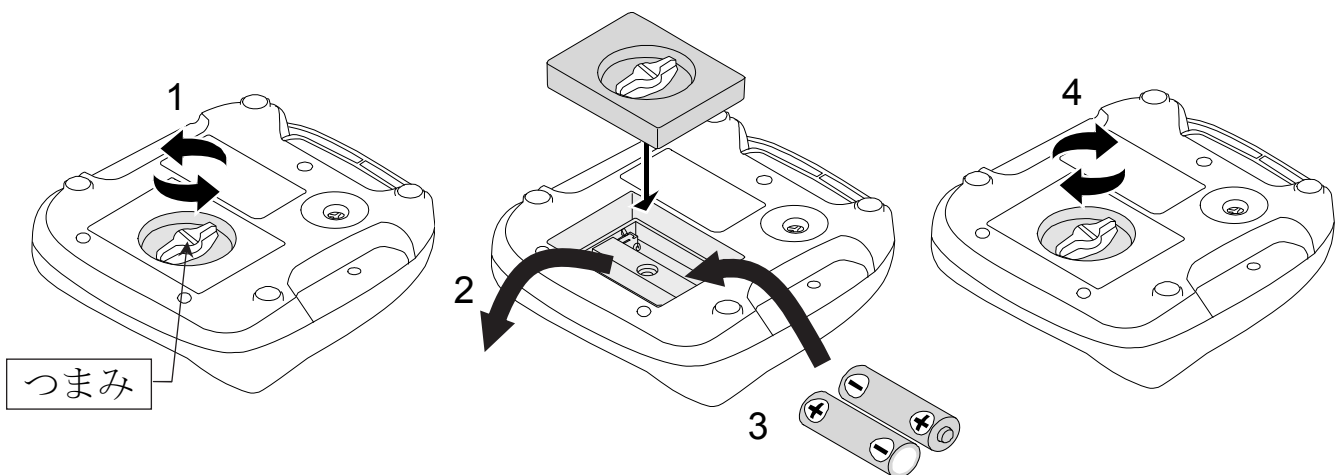


5. 取扱方法

5.1. 電池の入れ方と交換方法

⚠ 注意

- ❑ はかり本体や電池カバーの水分をよく拭き取ってください。また、手が濡れた状態では電池を交換しないでください。
- ❑ 電池の極性 (+/-) をケースの表示に合わせて正しく入れてください。
- ❑ 電池の交換は、2 個同時にまとめて行ってください。
- ❑ 異なった種類の電池、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。
- ❑ 充電式電池は使用しないでください。使用時間が短い、または正常に動作しない場合があります。
- ❑ 長期間使用しないときは、電池を抜いてください。
- ❑ はかりに過度な力がかからないように注意してください。



1. 電池カバーのつまみを反時計回りに回して電池カバーを外します。
 2. 古い乾電池を全て取り除きます。
 3. 新しい単3形乾電池 2 個を極性に注意して入れてください。
 4. 電池カバーを取り付けて、つまみを時計回りに回してしっかり締めてください。
- ❑ 電池は付属していません。別にお買い求めください。

5.2. 基本操作

1. **入/切** キーを押すと、全表示点灯の後ゼロを表示します。
もう一度 **入/切** キーを押すと、電源が切れます。
2. 計量前にゼロ表示を確認します。ゼロ表示でない場合は、**ゼロ** キーを押してゼロ表示にします。容器（風袋）を使う場合、容器を計量皿にのせてから **ゼロ** キーを押してください。（計量範囲は風袋の質量分狭まります。）
3. 計量皿の上あるいは容器の中に計量物を置き、安定マーク“○”が点灯したら表示値を読み取ります。
（計量物の重心が計量皿中央にくるように計量物を置いてください。）

5.3. エラー表示

- E g** ひょう量を超えています。速やかに計量物をおろしてください。
- 電源オン時に、計量値が不安定な場合に表示されます。はかりを振動のない安定した環境に設置してください。
- lb** 電池がなくなりました。新しい電池 2 個に交換してください。
- CALE** キャリブレーション時、校正分銅が正しくないときに表示されます。
- Err*** 計量可能範囲外や設定エラー等の場合に表示されます。
（* は数字を表します。）

上記エラー表示が解消されない場合は、故障等の可能性があります。

5.4. お手入れ

⚠ 注意

- ❑ 清掃時、中性洗剤を少ししみこませた柔らかい布で拭き取ってください。
- ❑ 中性以外の洗剤を使用するときは、本体から計量皿を取り外し、洗剤を十分希釈の上、計量皿のみ洗浄してください。洗浄後は水で洗い流すなどして、洗剤が残留しないようにしてください。
- ❑ 有機溶剤、化学ぞうきん、ブラシは使わないでください。
- ❑ お湯で洗浄するときは、40℃以下のお湯を使用してください。また、食器洗い乾燥機には入れないでください。
- ❑ 清掃時は電池カバーを外さないでください。また、電池カバーのつまみが緩んでいる状態では清掃しないでください。
- ❑ ダイヤフラムを清掃する場合はやさしく拭き取り、傷つけないように注意してください。
- ❑ 通気孔にもものを入れないでください。
- ❑ 本体底面のシールやその付近は、強く擦らないでください。



6. 内部設定

6.1. 内部設定モードに入る

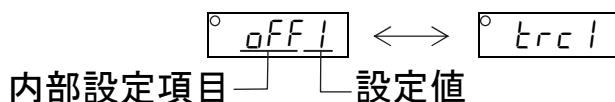
1. 電源をオフにします。
2. **ゼロ** キーを押しながら **入/切** キーを押すと、バージョン表示 **P-10** となります。（“1.0” は一例です。）
3. **ゼロ** キーを押すと内部設定モードに進み、**OFF***（オートパワーオフ機能の設定）表示になります。（*は設定値で、出荷時は 1 に設定されています。）

6.2. 内部設定モードでのキー操作

ゼロ キー 内部設定項目を切り替えます。

入/切 キー 各内部設定項目の設定値を変更します。

ゼロ キーを押すごとに、内部設定項目が以下のように切り替わります。



内部設定項目	設定値	説明	
OFF オートパワーオフ機能	0	働かない	安定表示が約5分続くと自動的に電源が切れる機能
	◆ 1	働く	
trc ゼロトラッキング機能	0	働かない	ゼロ点のゆっくりとした変化に追従して表示をゼロに保つ機能
	◆ 1	働く	

◆ 出荷時設定

各内部設定項目を表示しているとき、**入/切** キーを押すとそれぞれの設定値を変更できます。“○” が点灯しているときに表示される設定値が、現在記憶されています。

設定値の変更を記憶する場合は、設定値を変更した後（“○” が消灯している状態で）、**ゼロ** キーを押します。**End** 表示後、内部設定項目が切り替わります。

内部設定操作を終了するときには、**入/切** キーを押し続けます。表示が消灯して電源がオフになります。

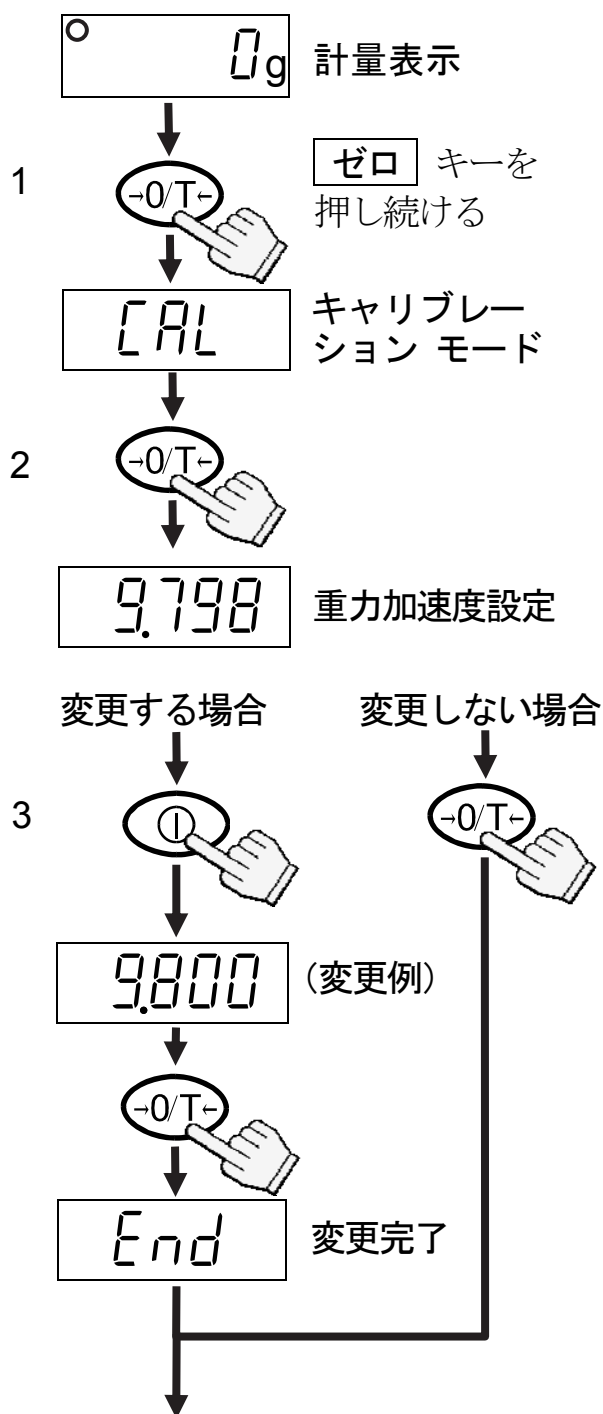


7. 校正（キャリブレーション）

- 正確な計量を行うために、最初に設置したときや遠隔地に移動したときにはキャリブレーション（校正）を行うことをお勧めします。また、計量精度維持のために定期的に行うことをお勧めします。
- はかりは工場出荷時に、重力加速度 9.798 m/s^2 に対して校正されています。お使いの場所の重力加速度がこれとは異なり、また校正用分銅を用意できない場合、末尾の重力加速度マップを参考にして重力加速度の値を設定してください。

キャリブレーションの実行

1. 計量表示で **ゼロ** キーを押し続けると、キャリブレーションモードに入り **[CAL]** 表示になります。（**[CAL]** 表示後、**ゼロ** キーを離します。）
2. **ゼロ** キーを押すと、記憶されている重力加速度が表示され、重力加速度の設定に進みます。



重力加速度の設定

3. 重力加速度の設定を変更する場合は、**入/切** キーを押すごとに値が+1されます。また、**入/切** キーを押し続けると、キーを押している間、値が+1され続けます。（重力加速度の設定可能範囲は $9.770 \sim 9.834$ です。）重力加速度の値を設定したら、**ゼロ** キーを押します。重力加速度の変更を記憶して **[End]** 表示になります。その後、自動的に **[CAL0]** 表示になりゼロ点の校正に進みます。

重力加速度の設定を変更しない場合は、値を変更せずに **ゼロ** キーを押します。**[CAL0]** 表示になりゼロ点の校正に進みます。

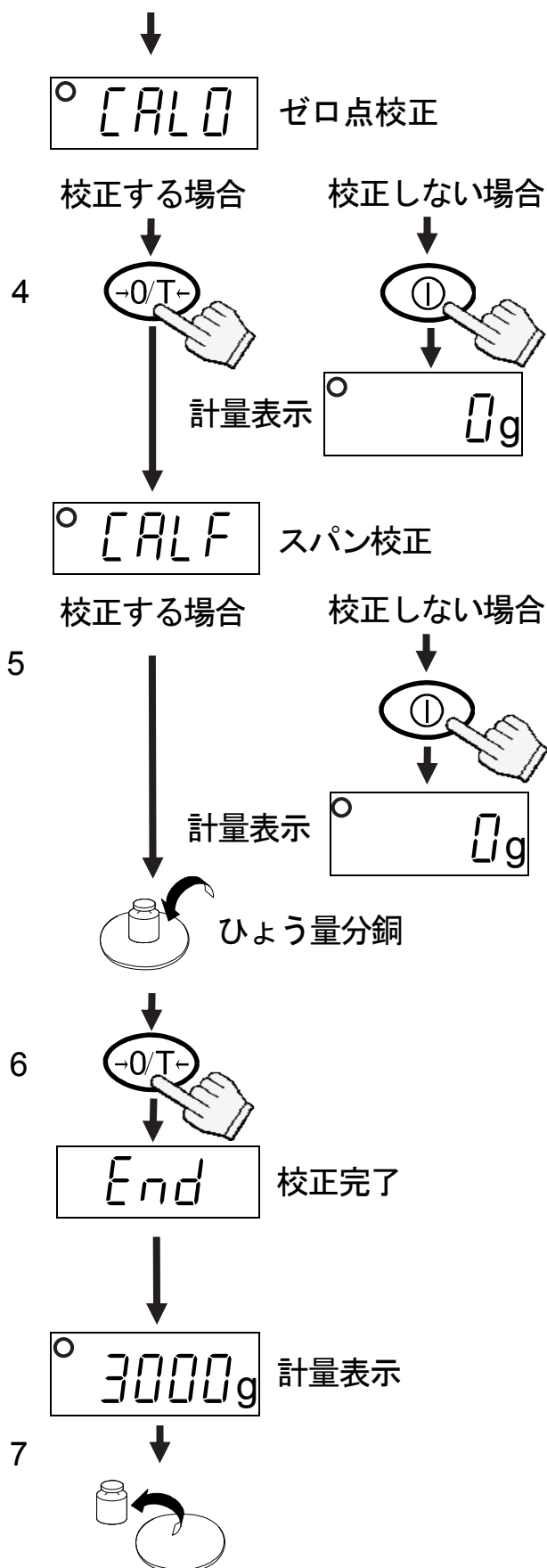
ゼロ点の校正

4. ゼロ点を校正する場合は、計量皿に何ものせずに安定マーク点灯を待ち、**ゼロ** キーを押します。ゼロ点が校正され、**[ALF]** 表示になりの校正に進みます。

ゼロ点を校正せず、キャリブレーションを終了する場合は、**[ALD]** 表示の時に **入/切** キーを押します。計量表示に戻ります。

スパンの校正

5. スパンを校正する場合は、計量皿中央に校正用分銅をのせてください。
スパンを校正せず、ゼロ点の校正のみでキャリブレーションを終了する場合は、**[ALF]** 表示の時に **入/切** キーを押して、計量表示に戻ります。
6. 安定マーク点灯を待ってから **ゼロ** キーを押します。分銅による校正が完了し、**End** 表示後自動的に計量表示に戻ります。
7. 分銅を降ろしてください。



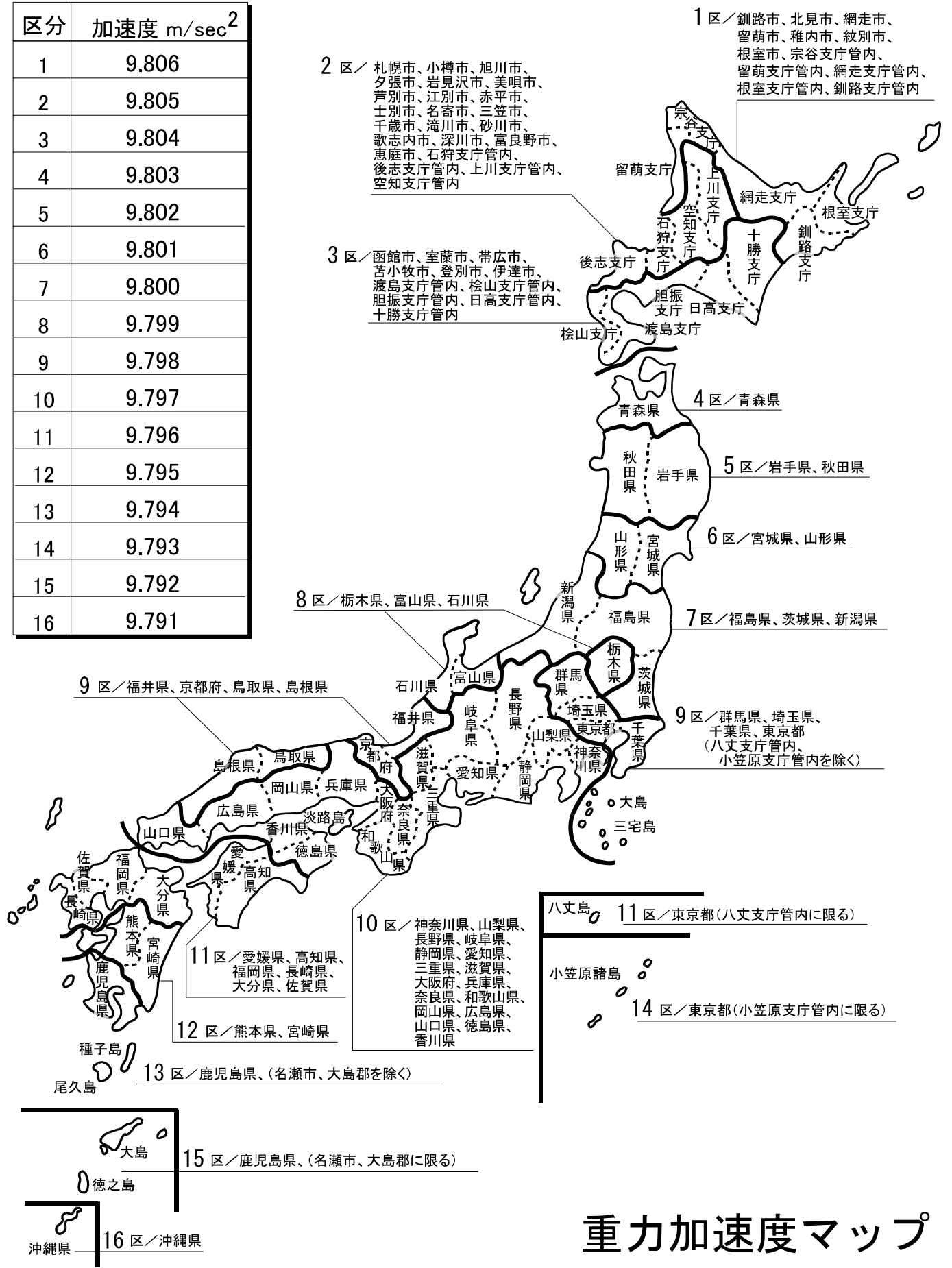


8. 仕様

モデル	UH-3000WP
ひょう量	3000 g
目量	1 g
直線性	± 2 g
再現性	2 g (標準偏差)
スパンドリフト	±100 ppm / °C (5 °C ~ 35 °C)
使用温湿度範囲	5 °C ~ 35 °C、85 %RH 以下 (結露しないこと)
表示	7セグメント LCD 文字高 15.2 mm
表示書換回数	約 8 回/秒
安定所要時間	約 1.5 秒
電源	単 3 形乾電池 (R6P / LR6) 2 個
電池寿命	約 700 時間 (23°C、アルカリ乾電池使用時)
防水等級	IP67
計量皿寸法	約 φ 150 mm
製品外形寸法	150(W) x 161(D) x 74(H) mm (計量皿取付時)
製品質量	約 420 g (電池含まず)
主な材質	ABS (本体、計量皿)、ポリエステルフィルム (表示シート)、シリコンゴム (ダイヤフラム、防水パッキン)、TPE (ゴム足)、ステンレス (ネジ)
標準付属品	取扱説明書
別売アクセサリ	ステンレス皿 (UHWP-10JA)

- 仕様は将来予告なしに変更することがあります。
- 安定所要時間は、ひょう量をのせてから安定マークが点灯するまでの時間を示します。
- 電池の寿命は動作環境により異なります。

区分	加速度 m/sec ²
1	9.806
2	9.805
3	9.804
4	9.803
5	9.802
6	9.801
7	9.800
8	9.799
9	9.798
10	9.797
11	9.796
12	9.795
13	9.794
14	9.793
15	9.792
16	9.791



重力加速度マップ